

一般質問通告順序表

No.1 (令和4年6月14日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	田畑 和彦	市長	<p>1. 企業誘致の促進について (1) 西薩中核工業団地へ新たに進出する企業の状況と本市への経済効果について伺う。 (2) 新工業団地の整備状況と今後の企業誘致対策について伺う。</p> <p>2. 住民サービスの向上について (1) 各種証明書発行が可能となった、コンビニ交付サービスの令和3年度の実績とメリット・デメリットについて伺う。 (2) 窓口交付を困難とする高齢者に対し、新たに各種証明書の発行が可能となる方策について伺う。</p> <p>3. 遊休農地について (1) 遊休農地の現況について伺う。 (2) 遊休農地を解消する本市の対策について伺う。</p> <p>4. 職員研修のあり方について 人材育成の一環として職員研修が計画的に実施されていると思うが、これまでの取組内容と今後の計画について伺う。</p>
2	東 育代	市長 教育長	<p>1. 男女共同参画の推進について 第3次いちき串木野市男女共同参画基本計画(平成30年度～令和4年度)の最終年度を迎え、基本計画や重点的な取組をしっかりと検証することが、次の第4次計画策定に繋がると考える。 (1) 第3次計画で掲げた「基本目標」及び「重点的な取組」、「基本計画の推進」の検証、成果を伺う。 ①男女共同参画を推進し、多様な選択を可能にする教育・学習の充実について伺う。 ②男女の多様な働き方を支援する就業環境の整備の充実について伺う。 ③政策・方針決定への女性参画の拡大について伺う。 ④地域・防災における男女共同参画の推進について伺う。 ⑤生涯を通じた男女の健康の保持・増進について伺う。 ⑥男女の人権を侵害するあらゆる暴力の根絶について伺う。 ⑦生活上の困難におかれやすい人々への対応の充実について伺う。 ⑧男女共同参画推進懇話会と推進会議の充実について伺う。 (2) 第4次いちき串木野市男女共同参画基本計画策定に向けた具体的な取組と考え方について伺う。</p> <p>2. ファミリーサポートセンター事業について (1) 依頼会員、提供会員の現状と課題について伺う。 (2) 市役所子どもみらい課内にあるファミリーサポートセンターの現状と移設の必要性について伺う。</p>

3	西田 憲智	市長 教育長	<p>1. 行財政全般について</p> <p>(1) 行財政を改善させる自主財源確保へ向けた将来の展望について、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 市職員の定数管理の在り方について伺う。</p> <p>(3) 指定管理者制度の成果とこれからの在り方について伺う。</p> <p>2. 教育行政について</p> <p>(1) 学校教育の充実について</p> <p>① 幼稚園・小学校・中学校・高校間の連携について伺う。</p> <p>② 学校規模による教育格差について伺う。</p> <p>(2) 不登校・学校不適応・学級不適応の児童生徒への支援について</p> <p>① 多様化する児童生徒指導体制について伺う。</p> <p>② 「子ども第三の居場所」事業の取組について伺う。</p> <p>3. 福祉行政について</p> <p>(1) 「重層的支援体制整備事業実施計画」策定について伺う。</p> <p>(2) 重度心身障がい者医療費助成金支給システムについて伺う。</p>
4	高木 章次	市長 教育長	<p>1. 川内原発について</p> <p>ウクライナへの侵略により、原発は脅迫・攻撃対象となることが明らかになった。中国・北朝鮮・ロシアによって発生している東アジアの緊迫した状態が落ち着くまで、原発の速やかな停止を求めるべきではないか。</p> <p>2. 原子力防災計画について</p> <p>(1) 安定ヨウ素剤の事前配布について</p> <p>① 本市の事前申請者が極端に少ない。本年度の申請者数を増やすために、市として理解活動・広報活動を積極的にすべきではないか。</p> <p>② 原子力防災訓練では、「確認票」により模擬安定ヨウ素剤が配布されたが、確認事項はヨウ素アレルギーの「ある・ない」だけである。郵送による事前配布など、もっと積極的にできるのではないか。</p> <p>(2) 屋内退避時の被ばくについて</p> <p>令和3年12月定例会の一般質問の中で、「確率的影響リスクを低減するためのIAEAの包括的判断基準を下回っており、UPZ内における緊急時の初動対応として屋内退避を基本としている原子力災害対策指針の考え方は妥当であるとされている。」との答弁があった。基準を超えなければ良いというレベルではないと思うが、見解を伺う。</p> <p>3. 学校給食について</p> <p>本市は「食のまちづくり」の取組を推進していることから、無農薬・低農薬・有機栽培による学校給食については、できることから積極的に取り組むべきではないか。</p>

5	吉留良三市長	<p>1. 鳥獣捕獲体制の強化について</p> <p>(1) 今日の被害状況から、鳥獣捕獲事業補助金の通年的対応が必要と思うがいかがか。</p> <p>(2) 被害を減らすためには猟友会の方々の協力が不可欠であることから、猟友会員の技術力向上や人材育成のための研修等が必要ではないか。</p> <p>(3) サル捕獲用の罠の試験的導入を表明されたが、積極的に推進する考えか、また、見通しはどうか。</p> <p>2. 職場環境改善の取組について</p> <p>(1) 「イクボス宣言」の実効性ある取組について伺う。</p> <p>(2) 病気休職者もみられるが、メンタルヘルスについてどのように考え、また、復帰に際しどのように対応しているか。</p> <p>(3) これまでの定数減で、職員の負担が増していないか。また、定数減に応じた業務量になっているか伺う。</p> <p>3. 人材育成について</p> <p>(1) 本市は人材育成基本方針を定めているが、これまでの成果と課題について伺う。</p> <p>(2) 人材育成を効果的に推進するため、必要な部署への専門職の配置・育成についてどのように考えるか。</p>
---	--------	--

一般質問通告順序表

No.2 (令和4年6月15日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
6	江口 祥子	市長	<p>1. 带状疱疹ワクチン接種について コロナ禍で外出を控える生活が続いていることが原因の一つと思われる带状疱疹が増加傾向にある。 (1) 带状疱疹ワクチンの必要性を周知するべきではないか。 (2) 带状疱疹ワクチン接種の助成についての考えを伺う。</p> <p>2. 子宮頸がんワクチン接種とキャッチアップ接種について 本市としても子宮頸がんワクチン接種とHPVワクチンの接種を逃した方のための接種（キャッチアップ接種）については、積極的な対応と取組が必要と考えるが、現在の取組状況を伺う。</p>
7	原口 政敏	市長 教育長	<p>1. 大里川の拡幅工事について 梅雨時期の大雨が懸念される。大里川の改修工事が進んでいないようだが、進捗状況はどのようになっているか。一日も早い改修を県に要請すべきではないか。</p> <p>2. 水産資源安定供給対策事業について 養殖事業として、あさりなどの養殖を考えているとのことであったが、進捗はどのようか。</p> <p>3. 教育問題について (1) ウクライナの状況を考えれば愛国心の教育は大事であると思うが、子どもたちへの教育はどのようになっているのか。 (2) いじめ問題について、本市の小中学校の現状はどのようになっているか。また、「スクールロイヤー」の介入により課題を解決する考えはないか。 (3) 数年前、本市において児童虐待の問題があったが、その後発生していないか。虐待を防ぐための対策は何か行っているのか。</p>
8	田中 和矢	市長 教育長	<p>1. 洋上風力発電に積極的推進の理由について (1) 計画のある薩摩半島西方沖の沿岸5市の中で、中屋市長が唯一、建設推進を表明されている。長期の大型事業であることから、経済効果や雇用創出への期待、人口減少が進み閉塞感がある我が市で地域活性化の起爆剤になり得ると期待できるが、市長はどのような考えで建設を推進されているのか。 (2) この大プロジェクトの方向性と今後の実現の可能性について伺う。</p> <p>2. 寄り洲除去の進捗について 今後も、線状降水帯の頻発や豪雨が予想されるため、五反田川の寄り洲除去が引き続き必要である。上流に向け計画的な整備の予定はないか伺う。</p> <p>3. 小・中学校の再編について 第2次総合計画(後期基本計画)では、小・中学校の再編の検討について、「児童生徒にとって望ましい学校教育環境を整えるために、地域の実情や意見等を踏まえ、学校再編を進める」となっている。 昨年の本市の出生数は110名であり、今後もますます減っていく。統廃合を含め、本格的に再編を進めないといけないと考える。検討だけではなく、具体案を提示されたい。</p>

9	中里 純人	市長 教育長	<p>1. 超高齢化社会について</p> <p>(1) 本市の高齢化率は 38.0%で、進捗率は県内 19 市中 10 番目である。高齢者世帯や認知症高齢者は潜在的に多いと思うが、老々・認々介護の家庭の実態調査は行われているのか。</p> <p>(2) 介護従事者の人手不足や介護疲れ等の問題はどの程度把握しているのか。</p> <p>(3) 超高齢化社会への対策である「地域包括ケアシステム」は、今後進行する高齢化社会に現状で対応できるのか。地域包括支援センターの人的問題や拠点が 1 ヶ所で十分か。</p> <p>(4) ころぼん体操が新型コロナの感染防止のため休止されていた。市として再開のための事例等は示せないか。また、ころぼん体操の効果は数値で検証されているか。</p> <p>(5) 高齢者の 5 人に 1 人が就業している。いつでも、自宅や職場でもできる体操を考えてはどうか。</p> <p>(6) フレイル予防の 3 本柱の「栄養・運動・社会参加」のうち、栄養に関する取組が進んでいない。高齢者の低栄養や病気を予防する食事や健康メニューの開発は考えられないか。</p> <p>(7) 公共施設のトイレの洋式化は計画的に改修されているか。高齢者が和式トイレで困っている。また、手すりが無いところもあり、早急に設置すべきではないか。</p> <p>2. スポーツの充実と部活動について</p> <p>(1) 競技数及び競技人口は 10 年間でどのように推移しているか。競技別人口に対する施設は十分か。また、スポーツの目的が多様化してきているが、新たなスポーツがあるのか。</p> <p>(2) かごしま国体を機に、バスケットボールを中心としてスポーツ振興が考えられるが、市として重点的に取り組む競技はあるのか。</p> <p>(3) 部活動の 10 年間の推移について、競技経験のない顧問の実態はどうか。部活動の外部指導者導入を検討してはどうか。</p> <p>(4) 部活動の地域移行についての現状認識と、どのような問題や課題が予想されるのか。</p>
10	福田 清宏	市長	<p>1. ひとり暮らしの高齢者の情報の共有について</p> <p>(1) 市と公民館館長や民生委員、福祉アドバイザー等との間で、安否確認の情報共有は、どのように行われているか、伺う。</p> <p>(2) 入所や入院等の情報共有は、どのように行われているか、伺う。</p> <p>2. 公園の整備について</p> <p>(1) 海浜児童センター周辺の公園整備について伺う。</p> <p>①長崎鼻公園の再整備計画は、いつ頃出来上がり、それに基づく再整備の完成の予定について</p> <p>②海浜児童センターの取り壊しの時期について</p> <p>③この跡地に、遊具や東屋、水道施設、広場等を整備し児童公園とすることについて</p> <p>(2) かもめ公園に整備されたゲートボール場の一角に、バスケットボールの設置は出来ないか、伺う。</p> <p>(3) 相撲競技場の土俵の屋根等の鉄骨は、腐食しているように見えるが、どのように整備される予定か、伺う。</p> <p>3. 道路の整備について</p> <p>(1) 野元公民館地内の野元中央線に接続する宮下 1 号線の改良整備について、伺う。</p> <p>(2) 本定例会に、都心平江線道路改良事業として建設中の新しい橋に関わる事業認定申請図書等作成に伴う委託料 1,650 万円が計上されているが、今後、諸々な過程を経て、新しい橋が、完成する時期について、伺う。</p> <p>(3) 平江公民館地内の平江 1 号線と新しい橋の取付地点の橋の鉄筋等を整備して、軽自動車等が通行できるようにできないか、伺う。</p>